

世田谷区手をつなぐ親の会 教育部のご紹介

共に学び子どもたちのために
情報を発信していきます

教育部は、就学前から小学生・中学生までの特別な支援を要する子どもを持つ親が、子どもの教育のより良い環境と内容の充実を求めて、様々な情報を得ながら学び発信していく場です。

学齢期の子どもを育てる上では、子どもの将来を見すえた親の意識がとても大切です。学校においても年齢の枠を超えた交流の輪を大きくし、地域にあたたかなネットワークを作っていきたいと思っています。



東京都では障害のある子ども一人ひとりの教育ニーズに応じた適切な教育的支援を行う「特別支援教育」が2007年から実施されました。

一方、政府の障害者制度改革推進のための基本的な方向として「インクルーシブな社会の構築」が示されています。障害があってもなくても、社会の一員として地域で生活をしていこうという「共生社会」を目指しています。

教育の面でも同様に、障害のある子もいない子も地域の学校で共に学ぶ「インクルーシブ教育」システムの構築を目指していますが、制度化にあたってはいろいろ難しい問題があります。教育部ではこのような国の動きを踏まえながら、具体的な要望に結び付けていきます。

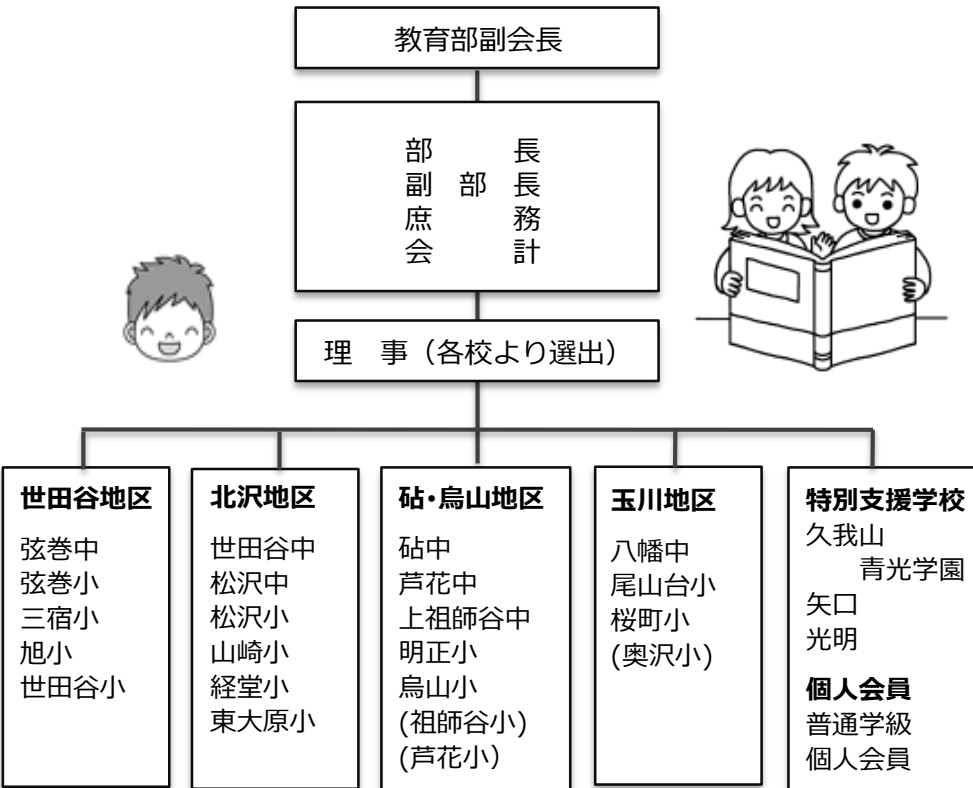


■ 加入している会員の皆さんは

特別な配慮や支援を必要とするお子さんを育てている保護者の方が加入、自閉症、ダウン症、発達障害など、様々な障害特性をもつ子どもの親たちが手をつなぎ、現在・将来に向け活動しています。

■ 教育部会の組織図

教育部副会長、部長のもとに、区立小・中学校の特別支援学級設置校の会員、都立特別支援学校の会員、個人会員によって組織しています。



■ 年会費 3,500円

世田谷区手をつなぐ親の会では、上部団体である東京都知的障害者育成会、全日本手をつなぐ育成会と連携して活動しています。都会報「東京手をつなぐ親たち」や全日本育成会の情報誌「手をつなぐ」など、購読ご希望の方は各校理事までお申し込み下さい。

——— 活動の詳細は ホームページをご覧ください ———

世田谷区手をつなぐ親の会 <http://oyanokai-setagaya.com>
 東京都知的障害者育成会 <http://www.ikuseikai-tky.or.jp>
 全日本手をつなぐ育成会 <http://www.ikuseikai-japan.jp>

教育部の主な活動内容

声を届ける！

★世田谷区教育委員会へ要望書

療育・特別支援教育の充実にむけて、保護者の要望を取りまとめ、要望書を作成し、世田谷区教育委員会へ提出しています。
要望の内容は学習環境の改善、学童・BOP利用状況の改善、特別支援学級の増設・多様化、教師や支援員・介添員など人員の増強などです。

参考になる！

★区内・区外施設見学

世田谷区内・区外の施設見学を実施しています。なかなか個人では見学できない、各施設での様子を実際に見ることができます。高等部卒業後の進路をイメージし、情報を得る機会です。



知ってもらおう！

★子どもたちの作品展

障害をもつ子どもたちの生き生きとした素晴らしい作品の展示を通して、一般の方々へ子どもたちへの理解を深めていただくとともに、親の会の活動を知っていただくために開催しています。
世田谷区役所第二庁舎1階ロビーで3週間にわたり、およそ570名の児童・生徒による、約1000点の作品が展示されました。



子どもたちが安心して
楽しい毎日を送れるようにと
親たちも楽しく交流しながら
さまざまな活動を行い
子どもたちの成長を応援しています

お友達作りも！

★茶話会

学校や子どもの年齢の枠を超えて、楽しくおしゃべりしながら、親が交流し、ネットワークを築くことができます。参加者からは、「先輩ママ達の反抗期やトラブルの時の話など、とても為になりすっかり聞き入ってしまいました」などの声も。

一緒に勉強！

★勉強会・講演会

専門家の先生方、知的障害・発達障害児に関わりある方、療育の先生などをお呼びして、お話を聞いています。年に1回から2回開催中。

貴重な情報源！

★中学校紹介・高等部紹介

中学、高等部にお子さんを通っている保護者の方から、直接、学校の様子(年間のカリキュラム・行事・クラブ活動など)を紹介していただきます。資料をもとに具体的なお話を聞くことができる貴重な場となっています。